

今宮スラム街の

家庭訪問票より

田 靡 登 茂 子

緒 言 (廣島英夫記)

乳兒院、保健所又は健康相談所に於て、直接大衆に接し必要なる公衆衛生知識を與へて、之れを實際に指導してゆくものは、即ち家庭訪問看護婦である。家庭訪問看護婦こそは、保健衛生事業の第一線に立つて働く白衣の天使である。大きな愛と、つきない忍耐と而して人知れぬ苦心とを要するものである。

今宮スラム街の乳兒の慈姉として、又「スラム」街保健の第一線に立つて活動してゐる今宮乳兒院家庭訪問看護婦田靡登茂子女史より、その家庭訪問票の一つを借り

て茲に記載し、家庭訪問看護婦の活動状態を觀て頂くと共に「スラム」街に於ける人々の生活状態を想像して頂きたいと思ふ。

乳兒名 X部X雄一才。(昭和十二年二月二十八日生)

第一回訪問 昭和十二年三月三十一日

住所 西成區東入舟町三一 朝日屋止宿

家族關係

父 二十六才、職業職工、健康にして特記

する程の病氣に罹つたことはない。教育

は高等小學校卒業程度で、嗜好として酒

を休日毎に一、二合飲む。結婚後三年を

經過す。

母 二十一才、別に病氣は無しと云ふも、

顔色は悪い。教育は高等小學校卒業程度酒は飲まない。

祖父(父方) 五十九才、職業手傳、常に弱く仕事を休む日が多い。酒を毎日一、二合嗜む。

祖母(父方) 五十六才、健康、酒は飲まない。

乳兒の同胞 長女、三才、健康と云ふも顔色蒼白である。

流産、死産は無い、死んだ子供もない。皆で六人の家族である。

乳兒の既往歴 熟産兒で、分娩は異常なく安産であつた。生下時の體重は二・六六斤。生後五日目に腹帶脱落した。

保育狀況

母乳栄養であるが授乳時間、間隔は不規則である。沐浴は一日一回宿の湯に入れる。衣服は「ガーゼ」肌着、「ネル」綿入着物を着せ、その上より巻布圍をしてゐる。保育者は主として母である。

家計の狀況

収入 父には一日一圓五十錢(給料)の収入があるが、日曜、祭日は休業である。給料の前借があるので平均三十圓餘となる。

祖父は手傳業のため毎月収入は一定しないが、平均月二十圓の収入がある。

支出 四疊半一室の部屋代一日五十錢。

乳兒の叔父目下某刑務所に收容されて居るので、その差入れに月十五圓乃至二十圓餘を拂はねばならない。祖父は毎日酒一、二合、父は毎休業日に一、二合を嗜む。米は一日一升五合餘を食ふと云つてゐる。

住居の狀況

止宿してゐる宿屋は小路の表北向き、二階建の家で、室数は六〇、止宿人は總計百人乃至百五十人ゐる。その中世帯を持つてゐるもの二十を算へる。風呂は附屬して居て、臺所は一ヶ所、便所は二階、

階下に各々二ヶ所宛ある。本家族の借りてゐるのは、二階四疊半の一室で、此處で家族六人が毎日起居してゐるのである。部屋の左脇に便所がある。南側に一間の窓があるが、その向ひ側に市營住宅のある爲め、日當り悪く少時間のみしか日光が射ししない。「ガラス」は二枚破損したとみえ、紙が貼つてある。窓の外側に物干しがある。部屋には押入れが無く、部屋の隅に布團四枚積重ねてある。その他水屋一つ、小火鉢一つ、カンテキ一つ、食卓一つ、米櫃一斗入一つがあるのみ。棚には「バスケット」が二個置いてある。部屋の中は不潔で整頓されてゐない。水道は共同水道。便所も共同である。各れも不潔である。

家庭訪問

第一回訪問 昭和十二年三月三十一日。

訪問時乳兒は母に抱かれて乳を飲んでゐた。乳兒の皮膚は蒼白で、栄養は良くない。

い。授乳は不規則に與へてゐる。傍に長女が駄菓子を食べ乍ら遊んでゐる。同じ様に顔色が悪い。明治「メリーミルク」小鐘を隔日位に飲ましてゐると云つてゐる。間食が多く、一日菓子代五錢乃至十錢も要ると。部屋は不潔で、掃除が行き届いてない。乳兒の體重を測定すると二・六〇斤である。おむつは小便でぬれてびしょくぐり且大便もしてゐる。大便は黄色でよく消化されてゐる。「ガーゼ」の肌着も汚れてゐる。

指示 授乳は出來得る限り規則正しくすること。母乳が不足する時は、長女に與へてゐる「ミルク」を乳兒に與へること。母親は栄養に注意して乳の分泌を多くするやうに努むこと。長女には間食を少くすること。菓子よりも果實を與へること。おむつ、肌着は度々代ること。部屋を清潔にすること。家計のこと。一度乳

兒院に來院のこと等を指示して歸る。

第二回訪問 四月八日。

部屋は整頓されてゐるが尙不潔である。

乳兒に指示通りに「ミルク」を調合して與へると、直ちに吐乳したと云つてゐる。大便は便秘することが多いと。

指示 是非來院するやうに注意する。

來院 四月九日 (川島學士診察)

養榮不良、體格小、皮膚蒼白、組織緊張度は減退してゐる。胸部、腹部所見には異常がない。

體重二・七〇疋

指示 牛乳七〇、湯五〇、糖八五—一日二回。牛乳配給をする。

母乳四回。

第二回來院 四月十七日。

便通普通、氣嫌及び睡眠は良好で元氣になつたと母親は云つてゐる。

體重 二・八〇疋。即ち前回の來院時より一〇〇瓦増加してゐる。即ち八日間

に平均一日一二・五瓦増加してゐる。生

後少しも體重増加を見なかつたのが、今漸く増加をみるやうになつて來た。

第三回來院 五月一日。

乳兒は別に變りはない。

體重 三・一〇疋。即ち第二回來院時より四〇〇瓦増加してゐる。平均一日三〇

瓦強の増加である。

指示 重湯で牛乳を薄めるやう指示する。家庭訪問で當面した問題と處置

一、乳兒養榮障得の問題來院受診を勧む。

受診の結果母乳不足なので牛乳二回補ふ。

二、經濟上の問題牛乳は配給牛乳を與ふ。

長女の間食を少くすること。家計の相談。

三、長女の健康状態來院受診を勧む。

四、母乳の問題母乳分泌を多くするやう榮

養に注意。榮養料理を教へる。

五、住居の問題部屋の整理、掃除に就き、

合理的能率的な方法を手傳ひ乍ら教へる。

治療・強壯・榮養

ネオスA

沃度含有量

昆布の千五百位

特殊活活性度劑

結核疾患 動脈硬化 血壓亢進 虛弱體質 精力減退 潜伏微毒

一圓八錢 八圓四錢 四圓四錢

東京アスル藥品部發賣